

西部地区人権教育実践報告会

令和6年7月26日(金)

会場：入間市産業文化センター



1 全体会の概要

- (1) 開会の言葉 運営協力者会代表
- (2) 挨拶 西部教育事務所長
主催者会会長
- (3) 来賓挨拶 入間市長
- (4) 人権作文の発表・表彰
 - ・「未来のために」 川越市立川越第一小学校 第4学年
 - ・「ぼくの吃音」 狭山市立入間野小学校 第5学年
 - ・「車いす体験から学んだこと」 入間市立高倉小学校 第5学年
 - ・「選べる性別」 ときがわ町立都幾川中学校 第1学年
 - ・「現代の高齢者と私の描く未来」 毛呂山町立川角中学校 第2学年
- (5) 閉会の言葉 運営協力者会代表

2 分科会の概要

分科会名	実践報告
「女性」 「外国人」	○所沢市の女性の人権に関する様々な取組 ○外国人の人権を理解する教育の推進について
「子供」	○親も子も地域とともに育む人とつながる力 ○防災から学ぶ人権の教育について
「同和問題(部落差別)」	○人権を尊重した共生社会に向けて主体的に取り組む生徒の育成 ○入間市における人権教育の取組について ～同和問題の理解のために～
「高齢者」 「障害のある人」 (オンライン分科会)	○高齢者の人権に対する取組について ○体験活動や交流を通して、人権感覚を育てる児童の育成
「性的指向・性自認」 「様々な人権問題」	○自分も相手も大切にできる児童の育成を目指して ～性の多様性に視点を当てた授業～ ○刑を終えた人と犯罪被害者等の人権を守る取組について

3 参加者の意見など

- (1) 子供たちの人権作文は、大変感動した。子供たちの素直な気持ちが聴けたなど、人権作文を通して人権課題を意識するきっかけになったという声が多数あった。
- (2) 人権についてアンテナを高くし、正しい知識を持ち、正しい理解と認識ができるようにしたいなど、人権意識を高めていきたいという意見が多数あった。
- (3) 様々な立場の方とかかわることを通し、多くの実践を聴くことができた、自校に持ち帰り、実践に生かしたい、人権に考える機会は積み重ねていく必要があるなど、前向きな意見が多数あった。